

会報

第62号

いまだ青春

編集発行

公益社団法人
菟広域シルバー
人材センター

～生きがいと地域のニーズを結びます～



	監					理	理
	事	”	”	”	”	事	事
職	藤	大	村	長	長	田	井
員	村	田	田	谷	岡	中	町
一	季	直	郁	義	繁	寛	孝
同	志	志	子	明	雄	治	一
							雄

令和五年 元旦



あけまして
おめでとう
ごきげん
なす

新年のご挨拶



萩市長
田中 文夫

新年おめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えることと謹んでお慶び申し上げます。萩広域シルバー人材センターにおかれましては、昭和61年の設立以来、長年にわたり会員の皆様方の豊富な知識や経験を生かした活発な事業活動により、高齢者の生きがいづくり、地域社会づくりに大いに貢献いただいております。また、感染症予防対策を行いながら、多様な就業機会の提供や、創意あふれる活動を通じ、高齢者の皆様に健康で充実した生活の実現に寄与いただいている貴センターの活動につきまして、理事長をはじめ、事務局、会員の皆様の熱意とご尽力に心より敬意と感謝の意を表します。毎年、多くのお仕事や、地域から貴センターへと寄せられていることは、会員の皆様方への信頼の表れであり、何よりも誇れる勲章ではないかと存じます。

少子高齢化が急速に進む今日において、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが求められています。このような中、活力ある高齢社会を支える地域の中核的な組織として、貴センターの担う役割は一層重要なものとなっているところであります。高齢者が豊かな知識や能力を生かし、社会を支える一員として、自主的、自発的に就業、ボランティア活動、地域活動など、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、市としましては、貴センターの運営を支援して参りたいと考えておりますので、会員の皆様方におかれましては、「任んでよし」「働いてよし」のまちづくりの推進に、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、萩市内の産業を取り巻く環境は、長らく新型コロナウイルス感染症の影響や、昨今の世界的な原油価格や物価の高騰などにより、いましばらく厳しい状況が続くと思われまします。こうした現状を踏まえ、市としましては落ち込んだ地域経済の回復やウィズコロナ・アフターコロナを見据えた、多様化する市民や事業者のニーズに対して柔軟に対応するとともに地域の実態に即した対策を適切な時期かつ迅速に行うことで、まちが賑い、「働く場所」として魅力あるまちづくり、「働いて良しのまちづくり」を推進してまいります。

また、貴センターの事業拠点である萩事務所の移転につきまして、市として高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業の機会の確保等を図るため、必要な施策や援助等を行ってまいります。

貴センターにおかれましては、今後ますます多くの高齢者の方に入会していただくとともに、長年のご経験や豊富な知識、熟達した技能を活かす就業先や新規事業の開拓など、会員のニーズに定める職の開拓に積極的に取り組んでいただき、「明るく元気な萩市」の一翼を担っていただくことを期待しております。

最後になりましたが、貴センターの今後益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸、更なるご活躍をお祈り申し上げます、新春のご挨拶といたします。



理事長
中原 滝雄

明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、お健やかに初春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

昨年一年間は、新型コロナウイルスとくにオミクロン株が猛威を振るい、私も萩広域地域においてもこれまでにない多くの感染者が出ました。

また、この新型コロナウイルスに加え、梅雨明け後の猛暑や異例の長雨など全国的な異常気象で大変な混乱が生じた一年となりました。

こうした状況の中で、会員の皆様方には一年を通して元気にセンターの仕事をしていただき、感謝の念に堪えないところであります。

さて、シルバー人材センターは皆さまご承知のとおり「自主・自立・共働・共助」の理念のもとに、高齢者に働く機会を提供し健康の維持と社会参加による生きがいの充実を図ることを目指しています。

当センターといたしましても、長年にわたり会員の皆様のニーズに応じた多様な就業機会が得られるよう努めるとともに、就業を通して少しでも人生の生きがいを感じ取っていただき、会員の皆様が永く会員として在籍いただけるよう努めてきたところであります。

会員の皆様方には、引き続き健康に留意して



阿武町長
花田 憲彦

明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

加えて、会員の皆様には「自主・自立・共働・共助」の理念の下、地域社会の活性化に貢献されておられることに対し、敬意と感謝を申し上げますとともに、私も行政の業務につきましても多大なご支援・ご協力をいただいております。ここに心から厚くお礼申し上げます。

さて、本町におきましては、第七次阿武町総合計画「選ばれる町をつくる」を策定し、地方創生に積極的に取り組み、人口定住対策、一次産業の振興、人のつながりづくりなどを重点施策として進めています。

こうしたこともあって、人口減少は相変わらず進んでいくものの、本町の人口は、二〇一〇年時点における国立社会保障・人口問題研究所の二〇二〇年の推定人口よりも、二〇二〇年の国勢調査による人口は一〇〇人以上も多く、「選ばれる町」になるための定住対策の成果が表れていると感じています。

二〇二〇年十月に開始した、地元有志の方々によるデマンド式交通の「ふくすけ便」は、自宅の玄関まで来てくれる利便性が大変好評で、この一年間で九〇〇人以上の利用者があり、定時定路線方式のコミュニティワゴンの約三倍の利用となりました。この試みが刺激となり、現在、奈古地区、宇田郷地区においても、二〇二三年四月の運行に向け、地元の有志の方々によるデマンド式交通の話し合いが進められてお

り、地域の方で地域課題を解決される取り組みに対し、喜びを感じると共に敬意を表する次第です。

また、阿武町を感じていただくための「まちの縁側推進プロジェクト」の一つである「ABUキャンパフリールド」が、昨年三月に道の駅隣にオープンし、これまで一万人以上の方々が、町の食材を味わいつつ、キャンプを楽しまれ、順調なスタートを切ることが出来ました。

さらに、二〇二一年十二月に設立された阿武町版DMOである阿武町観光ナビ協議会（通称「あぶナビ」）が本格的に動き出し、ただキャンプ場に宿泊するだけではなく、町での暮らしの魅力を感じてもらおう暮らしの体験プログラムが、町を訪れた方々には大変好評で、より町のファンになっていただき、関係人口や移住人口の創出となることを期待しています。

貴団体におかれましては、地域住民の高齢化、企業の定年延長などの要因により、会員不足が懸念されている中ではありますが、本町におきましては庁舎管理業務をはじめ、コミュニティワゴン運転業務、園児送迎業務、清掃管理業務などを始めとした多くの業務についてご貢献をいただいているところであります。会員の皆様のご活躍が地域にとってなくてはならない存在となっております。

今後、先ほど申しあげた暮らしの体験プログラムなどにおいて、高齢者の培った暮らしの知恵、技術が益々重要になって参りますし、町内にも若い人だけでは解決できない困り事が増えてきています。皆様の卓越した技術と豊かな経験が地域を助け、また、地域の活性化につながることを切に願っています。

終わりに、萩広域シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝で一層のご活躍されることを心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

いただき当センターの仕事が続けていただければ幸いに存じます。

「人生一〇〇年時代」といわれるようになりましたが、先般スポーツ庁の調査で高齢者の体力の低下傾向が顕著になった。とくに六十五歳から七十四歳の男性の体力は、過去十年間で最低だという掲載がありました。

運動習慣の広がりや、わりと良い調査値の出ている高齢者が今回ふるわなかつたということですが、

専門家によるとコロナ禍との関連とも言い難く、あまり運動しなかつた世代が高齢化したとの見方も出ているようで、健やかな長寿のため日々の運動習慣を改めて心がけることが必要と新聞にも掲載されました。

日々の運動を習慣づけることは必要ですが、働くことで元気を維持し、就業を通じて社会貢献をしているのが会員の皆様方だと考えられます。

そういう意味においても、会員の皆様方にはこれからも永く当センターの仕事が続けていただき、元気な生活を維持し地域社会へ貢献する一翼を担っていただければと願っています。

私もセンター役員一同も、新たな気持ちでこの一年を頑張りたいと思っておりますので、引き続き当センターの事業運営にご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに当たり、本年卯年が災害や事故のない平穏な一年になりますよう、また会員の皆様そして家族の皆様にとりまして最良の年になりますよう、心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

講習会・教育訓練

派遣労働者教育訓練

令和4年度の派遣労働者教育訓練が10月27日に長門会場で、11月16日に萩会場で実施されました。

今年度は「ビジネスマナー講習」、「シルバー人材センターの派遣について」の講義を受けました。

参加者：長門会場3名・萩会場7名



講習会

山口県シルバー人材センター連合会主催の令和4年度高齢者活躍人材育成事業の講習会が8月4日に萩市総合福祉センターで、8月26日にサンライフ萩で行われました。

8月4日の「おしごと説明会」は、入会希望者に対し、3人の会員さんが入会の動機、現在就業している仕事の内容、シルバー人材センターに入会して良かったこと、イマイチだったことなどを話してもらいました。



その後、萩市の保健師による健康体操の指導があり、日ごろ動かしていない身体を目いっぱい動かすことでさわやかな気分になりました。

非会員5名の参加があり、1名の新規入会者がありました。8月26日の「家事援助おそうじ講習」は、会員7名、非会員3名の参加で、家庭の掃除のコツと題し、換気扇、窓ふき、網戸の掃除の仕方を学び、さすがプロの技は違うなと感動しました。年末の大掃除に生かすことができました。

この講習の受講者からも新たに1名の入会がありました。

理事会報告

令和四年度ではこれまで三回の理事会を開催しています。報告事項と決議事項は次のとおりです。

●第1回理事会（4月28日開催）

- (1) 報告事項
 - 第1号報告 職務の執行状況報告
- (2) 決議事項
 - 第1号議案 専決処分の承認の件（令和三年度収支予算書一部補正に係る専決処分）
 - 第2号議案 新規入会者承認の件
 - 第3号議案 令和四年度会員表彰対象者承認の件
 - 第4号議案 令和三年度事業報告承認の件
 - 第5号議案 令和三年度収支決算承認の件（監査報告）
 - 第6号議案 理事長の報酬改定の件
 - 第7号議案 役員候補者決定の件
 - 第8号議案 令和四年度定時総会招集決定の件

●第2回理事会（5月27日開催）

- (1) 決議事項
 - 第1号議案 新規入会者承認の件
 - 第2号議案 特別会員（ゴールド会員登録）承認の件
 - 第2号議案 理事長の選定の件

●第3回理事会（10月25日開催）

- (1) 報告事項
 - 第1号報告 職務の執行状況の報告
 - 第2号報告 「令和四年度 第一回・第二回広報委員会」報告
 - 第3号報告 「令和四年度 第一回・第二回安全委員会」報告
 - 第4号報告 「令和四年度 第一回適正就業・就業拡大委員会」報告
 - 第5号報告 「令和四年度 第一回福祉・家事援助委員会」報告
- (2) 決議事項
 - 第1号議案 新規入会者専決処分承認の件
 - 第2号議案 令和四年度収支予算書一部補正承認の件

会員数は、令和3年度末には462人でしたが、令和4年9月末では452人となり、10人の減、前年度9月と比較しても1人の減となっています。

昨年度と同様に新型コロナウイルスの影響もあり、入会説明会への参加を遠慮される方もあることなどから入会者が少なくなっています。

会員数の状況 (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3月末
令和4年度	441	442	444	445	449	452	
令和3年度	462	452	453	454	455	453	462
比較	-21	-10	-9	-9	-6	-1	

また、退会者は昨年と同時期と比べ12人増え、52人となっています。退会理由は加齢によるもののほか、本人の病気・体調不良による退会も増えております。

9月末までの受託事業は、件数は減っているものの、契約金額は微増となっています。

主要因として、新規に施設管理業務等の受注があったものの会員の高齢化や減少により剪定、草刈などの受注件数は減っています。

受託事業実績 (単位 件数：件, 契約金額：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
4年度 件数	262	236	333	249	295	276	1,651
4年度 契約金額	14,050,323	16,773,570	18,621,407	19,447,388	18,155,938	17,166,883	104,215,509
3年度 件数	305	226	301	317	304	287	1,740
3年度 契約金額	14,649,412	15,805,502	18,117,414	20,254,005	17,475,632	17,023,872	103,325,837
比較 件数	-43	10	32	-68	-9	-11	-89
比較 契約金額	-599,089	968,068	503,993	-806,617	680,306	143,011	889,672

令和4年度の事業運営状況（9月末まで）

普及啓発活動

全国のシルバー人材センターでは、シルバー事業の社会的意義、活動内容等を広く地域住民等に理解いただくとともに、高齢者のセンターへの加入を働きかけ、そして就業の拡大に向けた取組をおこなうため、毎年十月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と定め、普及啓発活動を行っています。萩事務所では、十月二十日（木曜日）、ザ・ビッグエクストラ萩店においてチラシ配布等を行いました。



配布している最中に入会やセンターが受注している仕事の内容についてご相談もいただき、約一時間で三〇〇セットを配り終えました。



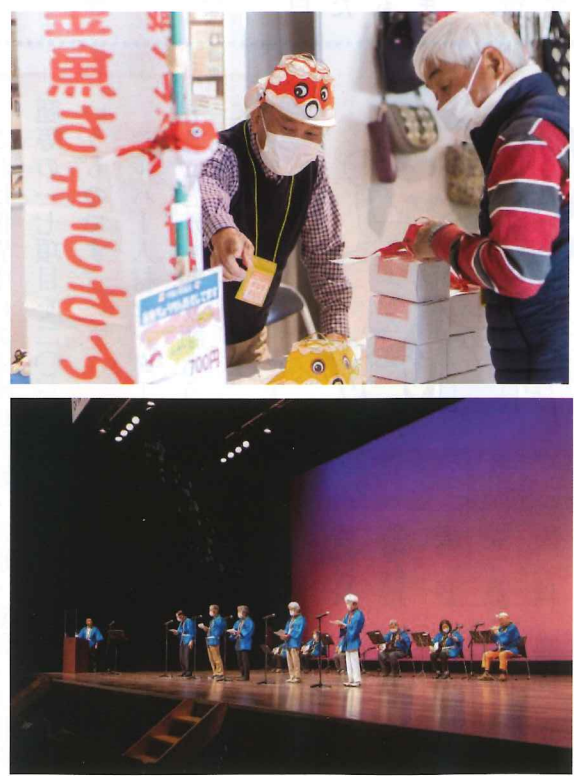
また、十一月十二日（土曜日）には萩事務所の手芸クラブ「きららの会」のみなさんが三年ぶりに萩ふるさとまつりに参加して、作品の展示、販売を行うとともに、チラシの配布を行い会員拡大につなげようと苦労されました。

シルバー人材センターはSDG s を推進しています！！

人口減少、少子高齢化が進展している中で、だれもがいくつになっても活躍できる社会の実現に向けて、地域の日常に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しているセンターの事業や活動などの様々な取組は、SDG s (持続可能な開発目標)と深くつながるものです。

シルバー人材センターで取組んでいる主要な取組と対応するSDG s のゴールは下表のとおりです。

○ センター未設置市区町村の解消に努め、希望する高齢者が入会できる機会を増やす	○ 80歳を超えても活躍できる就業機会の創出に努める。また、就業することが困難になった会員の居場所としての機能を果たす	○ 感染防止に配慮しつつ、新しい生活様式に対応して必要となる業務の発掘、新たな就業機会の確保に努める	○ 適正就業ガイドラインに沿った業務運営	○ 女性限定入会説明会、女性向けイベントの開催、女性会員拡大のための専門部会・委員会の設置	○ 女性向け就業機会の創出・確保	○ シルバー事業の更なる推進に向けた関係機関との連携	○ 地方自治体等との連携を強化し、地域貢献に取り組む	○ デジタル技術を活用した業務の効率化、新たな就業機会の確保に取り組む。また、会員及び高齢者のデジタルデバイドの解消に努める
[参考] 国際連合広報センター https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda								



悪質な電話勧誘・電話詐欺が多発しています！ それ、悪質商法かも！！

「私は絶対にだまされない！」
と思っても、電話に出てしまったら最後：相手はしゃべりのプロです。言葉たくみに勧誘されたり、不安をおおったりして、気がつくときだまされているのです。

- ・「無料で点検する」と言っていたのに高額な請求をされた
- ・「不要品を査定したい」と強引に要求され、高価なものを安価で売ってしまった
- ・身に覚えのない商品が代金引換で届いた
- ・「確実に儲かる」と言われたので投資してしまった
- ・などの不審な電話や訪問にご注意ください。

電話詐欺にだまされないためには、詐欺の電話を取らないことが重要です。在宅中も留守番電話設定にしておき、電話の相手を確認することや、不審な電話の着信をさせない機能や警告・録音機能のある防犯機能付き電話の活用が非常に有効です。



65歳以上のみなさん 運転卒業証制度をご存知ですか？

年齢を重ねると、認知・判断・操作のスピードや正確さ、記憶力・判断力・視力などが低下しがちになります。大切なのは、そのことを自覚し、いかに気をつけるかということです。

ご自身の身体機能の変化を意識して、安全運転を心がけましょう。

運転に自信が無い方は運転免許の返納も考えてはいかがでしょうか。

山口県警察では、65歳以上の方を対象に、「運転卒業証制度」を推進しています。この制度では協賛企業や団体に運転経歴証明書または運転卒業者サポート手帳を提示することによって、「タクシートの運賃割引」や「各種施設の料金割引」など、様々なサービスを受けることができます。

運転免許を自主返納(有効期間中に、全部取消の申請)されると、

- ・「運転卒業証」と「運転卒業者サポート手帳」(無料)
- ・「運転経歴証明書」(発行手数料 一、一〇〇円)

の交付を受けます。

※運転免許を失効した方でも、受け取ることができ、受ける場合があるため、詳しくは最寄りの警察署等にお尋ねください。



配分金所得と確定申告について

シルバー人材センターで得た「配分金収入」は所得税法上「雑所得」に区分され、五十五万円まで控除されます。一月下旬に「配分金支払証明書」を送付しますので、必要の方は、確定申告にご使用ください。

令和五年配分金支払日

- 一月二十五日(水)
- 二月二十四日(金)
- 三月二十四日(金)
- 四月二十五日(火)
- 五月二十五日(木)
- 六月二十三日(金)
- 七月二十五日(火)
- 八月二十五日(金)
- 九月二十五日(月)
- 十月二十五日(水)
- 十一月二十四日(金)
- 十二月二十五日(月)

安全委員会だより

今年度、安全巡回パトロールを四回実施しました。七月二十四日に田中寛治安全副委員長、長岡業務課長の二人で萩地域の剪定就業二か所、九月十三日に田中靖彦安全委員と長岡業務課長、五藤須佐出張所長、福島田万川出張所長の四人で須佐地域、田万川地域の草刈就業二か所、九月二十日に井町孝一安全委員長と長岡業務課長、藤井むつみ出張所長の三人でむつみ地域の剪定就業と萩地域のリサクルセンターの巡回を、九月二十二日に小田健治安全委員と長岡業務課長、俣野阿武出張所長の三人で阿武地域の草刈就業のそれぞれの就業現場を巡回し、安全就業チェックリストにより就業状況の確認を行いました。

今年十月末現在で八件の事故が発生しています。特に賠償事故は草刈作業中に飛び石による車、建物の破損や誤って水道パイプを破損したものです。

その他、傷害事故が二件、派遣業務事故が2件発生していますが、いずれも注意をすれば防げる事故ばかりです。事故が多いとセンターの信用を失う原因となります。

今後事故ゼロを目指し、お互い協力し事故を未然に防ぎましょう。

事故緊急時の連絡 シルバー人材センター 休日及び時間外

緊急連絡先

- (萩) ☎090-7974-5503
- (阿武) ☎080-5628-9530
- (むつみ) ☎080-5628-9535
- (須佐) ☎080-5611-9328
- (田万川) ☎080-5611-9334

新任職員あいさつ



村山佳子

九月一日より嘱託職員としてお世話になっております村山と申します。

公益社団法人特有の複雑な会計処理に戸惑いながらも、職場の方々にご教示いただき、そしてパワフルな会員の皆さまからも元気をいただきながら日々奮闘しております。

一日にも早く業務に慣れ、皆さまのお役に立てるよう努めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



広報委員会構成員

委員長	長谷 義明
副委員長	長山 雅範
委員	長岡 繁雄
委員	伊藤 龍男
委員	高壽 良行
委員	村山 佳子

記 表紙は、例年の干支にちなんだ萩焼の作品を掲載していただき、今号は萩焼窯元「勝景庵」の兼田知明さんによる干支「うさぎ」の香合です。

後 兼田さんは、開窯から二〇五年続く窯元の継承者で、萩焼伝統工芸士会・萩陶芸家協会の会員であり、多くの美術展等で入賞されています。

集 「焦らず・急がず・休まず」をモットーに日夜新しい作品の制作に取り組んでおられ小中学生への萩焼制作指導など、後継者の育成にも尽力されています。

編 また今号は、国連の提唱する「SDGs（持続可能な開発目標）」を載せています。

これは世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題等の一七項目を二〇三〇年までに解決して行こうというものです。

シルバー人材センターとしても、このことに対応できることから取り組もうということ、会員の皆さんに呼びかけるものです。